

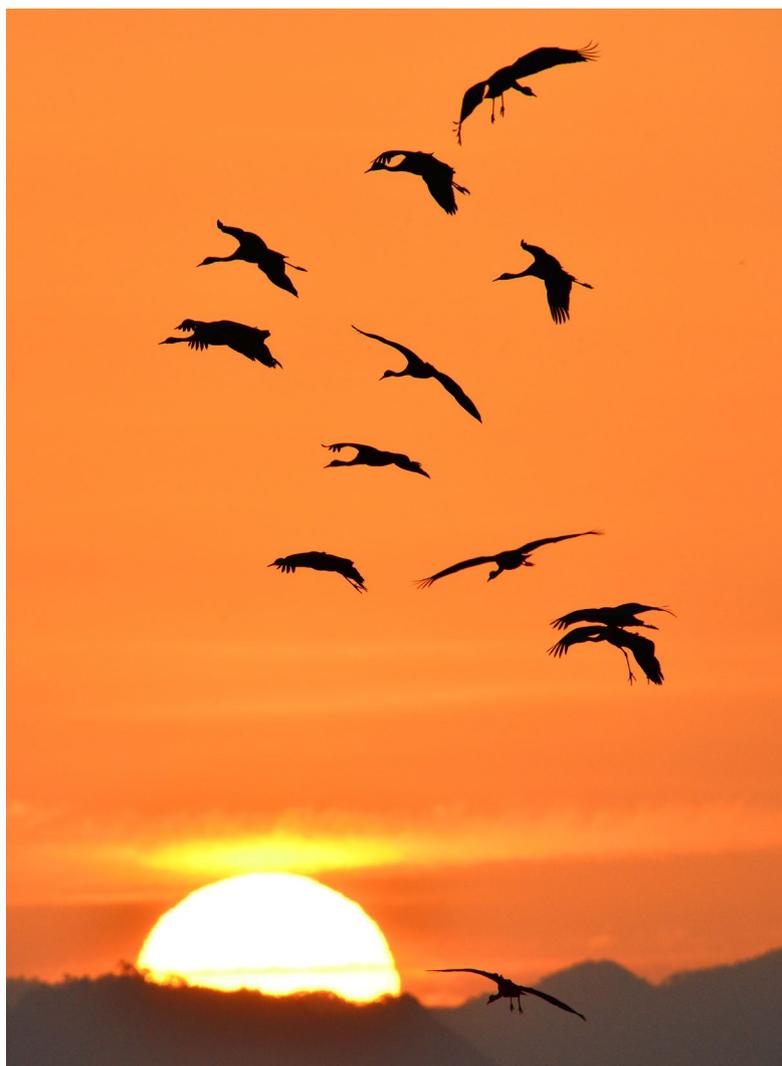
第3章 望ましい地域環境の将来像と基本目標

1 望ましい地域環境の将来像

本市総合計画では、「みんなで作る活力都市 住みたいまち 出水市」が将来の都市像として掲げられています。この都市像を環境面から実現するためには、地球規模の環境問題への対応や持続可能な社会及び人と自然が健やかに過ごせるまちの構築、そして環境保全に向けて市民一人一人が活躍できる機会の充実を図ることが重要です。

こうしたことから、本市における望ましい地域環境の将来像を以下のように設定しました。

「未来に羽ばたく環境都市 みんなで守り育てる清らかなまち 出水」



羽ばたくツル

2 望ましい地域環境の将来像の実現に向けた基本目標

望ましい地域環境の将来像の実現に向けて、5つの環境上の課題に対応する基本目標を整理しました。また、それぞれの基本目標に関連するSDGsの目標を示します。

【基本目標 1】 安心して暮らせるまち ～ 気候変動対策の推進 ～

対応する課題	気候変動への対応
関連する SDGs	    

気候変動は私たちの生命や生活、そして生態系の危機につながります。近年、世界的に集中豪雨や干ばつ等の異常気象が増加していますが、本市でも豪雨による自然災害等が発生するなど大きな懸念事項となっています。本市においても気候変動は既に身近な問題と言え、早急な対策が求められています。そこで、本市における1つ目の基本目標を「安心して暮らせるまち～気候変動対策の推進～」とし、気候変動の緩和策や適応策を充実させたまちを目指します。

【基本目標 2】 ごみの減量・資源化を進めるまち ～ 循環型社会形成の推進 ～

対応する課題	ごみの発生抑制とリサイクルの推進
関連する SDGs	  

本市の1日1人当たりのごみ排出量は鹿児島県と比較して少ない傾向にあります。一方で、資源化率は比較的低く、リサイクルが十分にされていないことから、今後も引き続きごみの発生抑制や適切な再使用・再生利用を推進していく必要があります。そこで、本市における2つ目の基本目標を「ごみの減量・資源化を進めるまち～循環型社会形成の推進～」とし、環境への負荷が少ない循環型社会が確立されたまちを目指します。

【基本目標 3】 多様な自然に彩られたまち ～ 自然共生社会形成の推進 ～

対応する課題 豊かな自然環境の保全

関連する SDGs



本市は多様な自然環境を有しており、市民の多くが自然環境の保全を望んでいます。一方で、市民が日常的に自然環境に配慮した行動をとることは少ない状況にあります。そのため本市の自然環境を保全するためには、私たちの日々の生活が自然環境に支えられていることを深く理解し、行動することが求められます。そこで、本市における3つ目の基本目標を「多様な自然に彩られたまち～自然共生社会形成の推進～」とし、自然とともに生きるまちを目指します。

【基本目標 4】 住み続けられるまち ～ 快適な生活環境の保全の推進 ～

対応する課題 快適な生活環境の確保

関連する SDGs



市民の多くが、健康で豊かな生活を送ることを望んでいます。本市においては開発行為による生活環境の顕著な悪化はありませんが、騒音や悪臭などの苦情や意見が寄せられています。また、武家屋敷や田園風景等、多くの市民から大切にされている町並み景観は今後も守っていくべきものといえます。そこで、本市における4つ目の基本目標を「住み続けられるまち～快適な生活環境の保全の推進～」とし、健やかで安全・安心な生活が約束されたまちを目指します。

【基本目標 5】 みんなが主役のまち ～ 環境保全活動と情報共有の推進 ～

対応する課題 環境保全活動と環境に関する情報の充実

関連する SDGs



本市では、市民、事業所の環境保全への関心が高まっている面もある一方で、環境保全活動への参加を望む市民が減少しています。また、環境問題が多様化し、適切な情報を得にくい現状もあります。市民の環境保全活動への参加の機会や場の増加とともに、環境に関する適切な情報の共有が求められます。そこで、本市における5つ目の基本目標を「みんなが主役のまち～環境保全活動と情報共有の推進～」とし、市民や事業所の環境保全活動への意識の向上、市民への参加機会の提供、そして情報共有の円滑化を目指します。